

ジンバブエ大使が小田原高校を訪問 ― 生徒の楽器寄贈に感謝状

令和7年6月20日、駐日ジンバブエ共和国大使のスチュアート・ナキョチョ氏と参事官エニエル・ベツェラル・センデライ氏が本校を訪問されました。今回のご訪問は、本校生徒がアフリカの子どもたちに向けて楽器を寄贈したことに対する感謝の意を直接伝えるためのものでした。



生徒たちは、不要になった楽器を回収し、音楽を必要とする子どもたちへと届ける活動を行っている団体「AIMEC（アフリカ国際音楽交流センター）」を通じて、ジンバブエを含むアフリカ諸国へ楽器を寄贈しました。

当日は、ナキョチョ大使より感謝状が手渡され、大使からは「皆さんの行動は、国境を越えて人と人をつなげる力を持っている。ジンバブエにとって音楽は特別な意味を持っている。子どもたちに希望を届けてくれてありがとう」との言葉をいただきました。また、本校からは、伝統工芸である小田原漆器の盆を記念としてお渡ししました。



全体の運営は、国際交流委員会の生徒が英語で行い、また、箏曲部には琴の演奏を披露してもらいました。

今回の訪問は、生徒たちにとって国際理解やボランティア活動の意義を改めて考える貴重な機会となりました。